

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援サービス 社会福祉行政				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年4月～ 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 在籍				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在に至る 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 日本発達障害学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	支援者向け大田区障がい者就労支援施設ガイドブック第4版	共著	なし	大田区立障がい者総合サポートセンター、P.121	大田区立障がい者総合サポートセンター支援調整担当・富田文子編	2024.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	就労継続支援B型事業所に在籍する障害者の一般就労時間の漸進的延長に関する実践	単著	なし		職業リハビリテーション, 37 (2), 36-40	富田文子	2024.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	特例子会社における障害者の雇用形態及び賃金体系に関する考察－A地区特例子会社連絡会へのプレ調査及びグループインタビューの分析から－	共同	日本職業リハビリテーション学会、横須賀市		○富田文子、朝日雅也	2023.8	
2	就労する知的障害者のライフステージに応じた支援を考える－賃金と性－	共同	日本職業リハビリテーション学会、横須賀市		○富田文子、門下祐子、東野村光昭	2023.8	
3	一般就労中における就労系障害福祉サービスの利用についての市区町村の支給決定の状況：件数及び事例の概況の把握	共同	日本職業リハビリテーション学会、横須賀市		○若林功、山口明乙香、野崎智仁、八重田淳、 <u>富田文子</u> 、後藤由紀子、前原和明、塩津博康、石崎由希子、長谷川珠子、永野仁美	2023.8	
4	IPSモデル実践機関を利用した者の語りからの考察	共同	日本精神障害者リハビリテーション学会第30回 岡山大会		片山優美子、佐々木絢子、中尾文香、門下祐子、 <u>富田文子</u> 、栗原浩之	2023.12	
5	Case Reports on Retuen-to-Work Support at Japanese Employment Transiton Support Agencies.	共同	Pacific Rim International Conference on Disability and Diversity : Honolulu		Goto Yukiko, Yaeda Jun, Wakabayashi Isao, Maebara Kazuki, Nozaki Tomohito, Yamaguchi Asuka, Shiotsu Hiroyasu, <u>Tomita Fumiko</u> .	2024.2	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	社会福祉士国家試験過去問題解説集 2024：第33回-第35回完全解説+第31回－第32回問題＆解答	共著	中央法規出版		（編集）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（分担：就労支援サービス）	2023.5	

2	2024年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模試	共著	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	(編集) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (分担: 就労支援サービス2問)	2023.10
3	第44回就労促進懇談会 自立へのステップ	共著	大田区第44回就労促進懇談会	○富田文子 (テーマ「障害者雇用の質向上への転換点」)	2023.11
4	第34回(令和5年度)手話通訳技能認定試験模範解答集	共著	一般社団法人手話通訳士協会	木下武徳,富田文子,寄林智,木村淳子,渡部芳博,小嶋栄子,光信仁美,小椋英子,鈴木唯美 (分担: 障害者福祉の基礎知識第11-20問)	2024.2
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費基金 (基盤C)		企業就労する障害者の雇用形態や賃金体系を基盤した職務評価のモデル指標の開発	研究代表者	2021.4-2024.3
2	文部科学省科学研究費基金 (基盤C)		生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-	研究分担者 (研究代表者: 金さやか)	2021.4-2025.3
3	厚生労働科学研究費補助金		企業等で雇用されている間における就労継続支援等の適切な実施プロセスについての研究	研究分担者 (研究代表者: 若林功)	2022.4-2024.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	障害者福祉論	○	15	障害者福祉論に関する理念、国内外における歴史的背景、障害者総合支援法等に関連法令に基づく福祉サービスの概要とともに、視聴覚資料等を活用したディスカッションを経て、多様なニーズに対応する支援者の役割を示した。	
2	ソーシャルワーク特論Ⅲ (就労支援論)	○	15	労働関係法令や動向、障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また、特例子会社及び就労移行支援に従事するゲストスピーカーを招聘し、現場で就労支援の実際を教授した。そして、併せて、支援者の役割を学ぶことで、知識のさらなる理解に努めた。	
3	公共経営論		3	地方公務員の福祉行政の現状や、地方自治体の福祉職に関する課題、公務員試験の概要について講義を行い、福祉専門職として求められる役割等についての理解の促進に務めた。(科目責任者: 伊藤善典)	
4	国際社会福祉論		1	国際交流委員会との日本における労働・雇用の状況から、外国人労働者政策について講義、ゲストスピーカー2名による講演から、国際社会における労働問題の理解の促進に務めた。(科目責任者: 伊藤善典)	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	社会福祉演習		15	1年次必修科目として、ビブリオバトルや論文の書き方等の基礎的能力について教授した。また、新聞検索から社会における自らの課題関心を探るようファシリテートし、他者と意見を共有する・議論することで、多角的視点が醸成されるよう指導した。	
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	1年生の社会福祉の基礎科目である、コミュニケーション基礎となるグループワークに関する演習科目の担当者として関わった。ロールプレイや自己理解・他者理解対して、適宜助言・指導を行った。	

3	社会福祉専門演習Ⅰ		15	5名の学生を担当した。障害者の地域生活支援（就労支援や自己決定等）に関するテーマにした専門書の輪読・視聴覚資料の活用を中心に展開し、議論を行った。	
4	社会福祉専門演習Ⅱ		15	5名の学生を担当、学生に関心のある文献検索・レジュメ作成、ゼミ運営等について展開を指導し、議論した。主なテーマはマにした専門書の輪読・視聴覚資料の活用を中心に展開し、議論を行った。	
5	社会福祉専門演習Ⅲ		15	6名の学生を担当し、障害者の余暇支援や就労支援、性的マイノリティ、きょうだい児支援など調査を実施し、議論を行った。	
6	社会福祉専門演習Ⅳ		15	6名の学生を担当した。卒業研究のために、調査分析、考察をについて、議論し指導した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW実習		2023年4月～ 2024年1月	地域担当（科目責任者会メンバー）として、教員の統括と実習サポートに従事し、運営を行った。専門職インタビューを伴うオンライン実習だったため、報告会では学生相互の活発な質疑応答と施設ファシリテータからの振り返りを重視し、学生の学びが促進・完結されるよう重層的な支援を行った。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2023.4～2024.3	主指導 6名	副指導 3名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国家試験における学習相談及び講義		2023年4月から 2023年12月	国家試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。併せて、「障害者福祉論」「就労支援サービス」についての講義を行った。	
2	国際交流委員会企画イベントの企画運営		2023年12月	日本における外国人労働者をテーマとして講演会を企画・実施した。 テーマ：「日本における外国人労働者と多文化共生を考える一技能実習生の実際を見つけてー」	
3	埼玉県立大学web講座		2023年7月	「育児 と就労の両立支援」をテーマに、出産・育児と就労 との 両立支援のための休業制度、所得保障制度について具体的活用方法を教示した。	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和5年度第1回しらこぼと セミナー （障害者虐待防止研修）		社会福祉法人 越谷市社会福祉協議会	障害者虐待の防止と対応～基礎編～	2023.9
2	令和5年度特別支援教育指導力向上研修会		埼玉県教育局	発達障害を含む障害のある生徒の就労について	2023.7
3	第85回さいたま障害者就業サポート研究会定例会		さいたま障害者就業サポート研究会	発達障害当事者の想いと支援者との寄り添いから障害者雇用を語り合う	2023.6
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称			委員等の名称	任期
1	埼玉県			令和5年度特別支援教育巡回支援	2023.4～2024.3
2	大田区			就労移行支援事業所連絡会委員	2023.4～2024.3
3	厚生労働省			「定着支援地域連携モデルに係る調査事業一式」に係る技術評価委員	2023.4～2024.3
4	さいたま障害者就業サポート研究会			事務局員	2016.4-現在
5	大田区役所 障がい者総合サポートセンター			就労支援協力員	2016.4-現在
6	大田区役所 障がい者総合サポートセンター			就労移行支援事業所連絡会会員	2016.5-現在
7	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟			2023年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員	2017年度-2023年度

8	障害年金法研究会	障害年金裁判事例検討部会 拡大運営委員	2018.8-現在
9	埼玉県 教育局 県立学校部特別支援教育課	令和元年度特別支援教育巡回支援員	2019.5-2024.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	地域貢献活動	大田区役所	共同研究契約締結（障害者の就労支援に関する調査・研究）2017.4-現在
2	国際協力事業	JICA東京	学生に対する国際交流の教育連携2022.4-現在
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会	2022.4-現在
2	学科等における委員会等	社会福祉学専攻スタッフルームの運営	2019.4-現在
3	学科等における委員会等	学科活動基金担当	2021.4-現在
4	大学広報活動	後援会担当	2022.4-現在
5	学科等における委員会等	2年次学年担当（社会福祉学専攻）	2022.4-現在
6	学科等における委員会等	SW実習演習運営方法検討部会 ワーキングメンバー	2022.7-現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		